

活動名	スキー・スノーボード教室 (野外活動) ※学校利用限定	
ねらい	○ 大自然の中、スキー・スノーボードに親しむことで、スキー・スノーボードの技能を高めながら雪国の冬の自然を味わう。	
条件	場所 太平山スキー場オーパス 対象 小学生・中学生(学校利用限定) 時期 冬季	時間 午前2時間 午後2時間 人数 1グループ10人以内 (初心者1グループ6名程度) 天候 スキー場リフト稼働時可
提出物	まんたらめ提出書類 スキー・スノーボード教室回答用紙 用具貸出票 スキー場提出書類 秋田市太平山スキー場オーパス団体申込書 スキー&スノーボードレンタル申込表(含ウエア)	
準備物	貸出 <input type="checkbox"/> まんたらめゼッケン <input type="checkbox"/> 無線機(引率者用)	団体準備(個人準備) <input type="checkbox"/> タイムスケジュール、グループ名簿 <input type="checkbox"/> 講師謝礼金、講師昼食代、リフト料金(児童・生徒分) <input type="checkbox"/> スキー・スノーボード用具、ウエアー式 ※スキー場からレンタル可(レンタル料金)
展開	事前 <ol style="list-style-type: none"> ①まんたらめにスキー・スノーボード指導員の依頼をする(10月)。 ②スキー場、まんたらめそれぞれで打合せを行う(1か月前)。□ ③参加者(児童・生徒)の技能レベル等を考慮しグループ分けをする。 ④当日のタイムスケジュールや動き、注意点などを参加者(児童・生徒)と共有する。 <hr/> 当日 <p>I 引率者の動き スキー・スノーボード教室開始前</p> <ol style="list-style-type: none"> ①まんたらめ職員と打合せを行い、まんたらめゼッケン、無線機を受け取る。 ②スキー場受付で当日の利用人数を報告し、指導者用リフトパスを受け取る。 ③指導員と打合せ(日程説明、参加者の情報提供、リフト乗車回数の確認要請)を行い、グループ名簿や指導者用リフトパスを渡す。 ④食堂でレンタルウエア、スキー、スノーボードの準備状況、荷物の置き場所を確認する。 <p>II 参加者(児童・生徒)の動き</p> <ol style="list-style-type: none"> ①スキー場到着後、食堂に移動し、荷物を引率者が指示した場所に置く。 ②ウエアを身に付ける。(経験者はブーツも身に付ける。) ③引率者から、まんたらめゼッケン(リフト券代わり)を受け取り、身に付ける。 ④ゲレンデまたは食堂前で、指導員と一緒に開講式を行う。(グループ毎可) (開講式は、グループの班長が進行役を務める。) ⑤講師の指導を受けながらブーツを履く。(経験者はすでに履いている。) ⑥指導員と一緒にスキー・スノーボード用具を受け取る。(※④⑤⑥は団体事情により変更有り) ⑦スキー・スノーボード教室開始。グループごとに、休憩や昼食をとる。 ⑧閉講式を行い、スキー・スノーボード、ウエア類を返却する。 <p>III 引率者の動き スキー・スノーボード教室終了後</p> <ol style="list-style-type: none"> ①スキー場受付にて指導者用リフトパスを返却し、リフト・レンタル料金の精算を行う。 ②バスでセンターに移動後、無線機を返却する。ゼッケンは、指定した場所に干す。 	
安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に、単独行動は絶対しないよう指導する。 ・怪我人や体調不良者が出た場合を想定して、緊急対応計画を立てる。 (必要に応じて、救急車要請、医療機関と連絡 まんたらめ職員と情報共有) ・スキー・スノーボード教室の開催可否については、天候・積雪、感染症の流行状況等、まんたらめ職員およびスキー場担当者と情報共有を密にして判断する。 ・引率者は、本部待機や巡視、救護、誘導等、分担して児童生徒の安全管理をする。 	

スキー・スノーボード教室の様子



レンタルウェアの配置(各座席に個々に配置)



ブーツ棚(名前ステッカーが貼付け)



指導者との打ち合わせ

時間	内容	場所	NO	ブルーゼッケン	班	技能	備考
9:00	指導者打ち合わせ	プラザ	21	太平 一郎	6	初心	
9:30	開講式	プラザ前	22	太平 二郎	6	初心	
10:00	午前の部開始	グループごと	23	太平 三郎	6	初心	
12:00	午前の部終了	グループごと	24	太平 四郎	6	初心	
13:00	午後の部開始	グループごと	25	太平 五郎	6	初心	
15:00	午後の部終了 お別れ	グループごと	26	太平 六郎	6	初心	
終了後、レンタルスキーの返却、閉講式はありません。			27	太平 七郎	6	初心	
お願い①おやつ(あめ)を運営子どもに渡してください。			28	太平 八郎	6	初心	
②緊急連絡 主任本脚 090-0000-1111			29	太平 九郎	6	初心	
③まんたらめ 827-2171			30	太平 十郎	6	初心	

指導者に渡すグループ名簿(リフト券サイズ)参考例



まんたらめゼッケンの着用(リフト券の役目)



ブーツの履き方の指導(スノーボードの例)



グループごとに活動開始



スキー初心者指導(片足だけで慣れるレッスンから)



午後の活動の様子(どのグループもリフトを利用)



1日で自分のレベルアップを感じる瞬間